

インターンシップ実習体験報告書(1/2) ※手書き不可

企業ID	16031	企業名	認定NPO法人スペシャルオリンピックス日本・東京	コース名称	
配属先・実習部署	事務局		実施地	東京都	
実施期間	9月6日～9月10日			日数・延べ時間	合計 5 日間/ 延べ 20 時間

キャッチコピー **【今回の実習を一言で示すキャッチコピーを記入してください。】**
事務作業の重要性

日程	実習日	実習内容(あたえられた課題)	課題に対しての行動・学んだこと
1日目	9月6日(木)	障害者スポーツとスペシャルオリンピックスの講義、スペシャルオリンピックスについてのビデオの視聴、それに対する意見、感想	活動の映像を視聴し、スペシャルオリンピックスがどういった活動をしているかを学んだ。
2日目	9月7日(金)	事務作業。冊子作成、郵便物102部作成。また、パソコンを使ったエクセルへのデータ入力とシール作成	事務作業の進め方。エクセルが仕事では必要であり、まだまだ使いこなせていないこと。
3日目	9月8日(土)	現場実習(MDP)	スペシャルオリンピックスとボランティアの関係性。子どものアスリートとの活動を体験。
4日目	9月9日(日)	現場実習(ボウリング)	幅広い年齢層のアスリートとの活動。ボウリングの基本動作も教えていただいた。
5日目	9月10日(月)	実習の報告レポート作成、提出。また、NPO法人とスペシャルオリンピックス日本・東京についての講義	NPOについて。また、エクセル操作を再び行った。
6日目	月 日()		
7日目	月 日()		
8日目	月 日()		
9日目	月 日()		
10日目	月 日()		

※実習日が10日間以上の場合、もう1枚印刷し、「1日目」～「10日目」の、「実習内容」、「課題に対しての行動・学んだこと」欄にご記入ください。

実習を通じての成果(400字程度)
【「～ができるようになった。」「～を得ることができた。」等具体的な自己の成長について書いてください。】

今回のインターンシップを通じて、いろいろな人とのコミュニケーションのとり方が上達したと感じた。事務局での実習はもちろん、現場での活動では、アスリート、ファミリー、様々な国からきているボランティアの方と活動する機会を得られた。私は今まで障害者と交流を持ったことがなく、実習前にはどう接したらよいかと不安に感じていたが、活動を通じて個性の一つとして、分け隔てなくコミュニケーションをとれたと実感した。また事務作業の大切さも実感した。封筒や書類の選別、エクセルでの入力などを体験したが、どれもミスがあると誰かに支障が出るものであった。正確に、かつ効率的に作業を進めることを心がけ、緊張感を持って仕事を行う重要性を学んだ。NPOの定義、どういった組織であるのか、またスペシャルオリンピックスの活動が具体的にどんなことをしているかなど、組織についても講義から学ばせていただいた。

実習にあたってどのような事前準備(学習)が必要か(200文字以内)
 スペシャルオリンピックスについて、どういったNPO活動をしているか。またそもそもNPOが何なのか、事前に学んでおくことが必要。パソコン操作も慣れておいた方がよい。知的障害者の方と実際に接するが、今までに経験がなくても問題ない。

今回の実習を経て、どのように今後の学校生活を進めるか【目標設定】(300字程度)
 ワード、エクセル、パワーポイントなど、パソコンの基本操作を今よりも向上させることを目標としたい。現状では、社会人として、仕事で使えるレベルに到底及んでいない。最低限基本操作は今年のうちに出来るようになり、来年以降、大学卒業までには一通り使いこなせるようにならないといけない。また、新しく会う人ともっと交流の輪を広げたい。明治大学内だけでも、数万人の人がいる。今の交友関係だけで満足せず、大学内に限らずとも、新しい人と、新しい出会いを大事にしていきたいと思う。それにより、広い視野を獲得していきたい。

農業
建設業
製造業
電気・ガス・熱供給・水道業
情報通信業
運輸業・郵便業
卸売業・小売業
金融業・保険業
不動産業、物品賃貸業
学術研究・専門・技術サービス業
宿泊業、飲食サービス業
生活関連サービス業、娯楽業
教育・学習支援業
医療福祉
サービス業
公務

インターンシップ実習体験報告書(1/2) ※手書き不可

企業ID	16041	企業名	総合メディカル株式会社	コース名称	
配属先・実習部署		実施地	東京都		
実施期間	8月20日～8月28日			日数・延べ時間	合計 6日間/延べ 45時間

【今回の実習を一言で示すキャッチコピーを記入してください。】

キャッチコピー

井の中の私、大海を知らず、されど空の青さを知る。

日程	実習日	実習内容(あたえられた課題)	課題に対しての行動・学んだこと
1日目	8月20日(月)	会社説明、医療業界についての説明、班研究及び発表。	会社や業界についての説明から、医療業界への理解が深まりました。また、グループワークでは、積極的かつ能動的に動く必要があるのだと学びました。
2日目	8月21日(火)	社内見学、東京支店社員の方との座談会、コンサルティング業務についての説明、班研究。	支店と支社の違い・コンサル業務について理解しました。また、コンサル部の方の資料から資料作成方法の理想を学びました。
3日目	8月22日(水)	薬局見学・業務体験、病院見学。	前二日で得た知識をより具体的にインプットすることができました。また、最終日の班研究発表に向けて必要な情報や案も見えてきました。
4日目	8月24日(木)	医療モール開発についての説明、キャリアサポートグループ部の社員の方との座談会、班研究および中間発表。	前日に実地を見学していたので、よりの確な質問ができました。中間発表に対するFBをいただいたことで、自班の案の改善点を発見しました。
5日目	8月25日(金)	医療モール開発部営業同行。	建設中の医療モールおよびその周辺の見学する機会をいただきました。また、会社の福利厚生についてなど貴重なお話しも伺うことができました。
6日目	8月28日(火)	班研究、発表準備、フィードバック。	実習で得た学びを活かした発表ができました。また、個人FBから反省点も見えました。今後は拡大質問によって話題の進行を図りたいと思います。
7日目	月 日()		
8日目	月 日()		
9日目	月 日()		
10日目	月 日()		

↑実習日が10日間以上の場合、もう1枚印刷し、「1日目」～「10日目」の、「実習内容」、「課題に対しての行動・学んだこと」欄にご記入ください。

実習を通じての成果(400字程度)

【「～ができるようになった。」「～を得ることができた。」等具体的な自己の成長について書いてください。】

他の参加者の方が習に取り組み姿勢から、大変刺激を受けました。二年生の参加が私だけであったこともあり、インターンシップに対する心構えや、グループワークの進行方法などの点において上級生の方と比べれば、憧れと共に悔しさを感じることもありましたが、一日の振り返りと、翌日の目標設定をしていくことで、徐々に差が埋まっていくのを実感しました。実習前の私とは違い、物事や他者の言動を多角的に見れるようになりましたし、自身に欠けていた「能動的に動く力」も養うことができました。なので、来年、インターンシップ実習に参加する際には、他の参加者から学ぶだけでなく、競い合い、お互いから学びを得られるような人材になりたいと思います。また、社員の方とお話し、会社を見学させていただくことでしか知ることのない学びを得ました。情報媒体から想像した企業像と、実像には多少なりとズレがあり、実際に足を運ぶことの大切さを感じました。特に、社是・社訓の浸透度はインターンシップに参加させていただいたからこそ得ることができた情報だと思っています。

実習にあたってどのような事前準備(学習)が必要か(200文字以内)

インターンシップ先の企業説明会に参加しておく必要があると思いました。私は、事前にある程度の企業研究および業界研究をしていたのですが、実際に実習に参加してみれば、他の参加者は最低一度は企業説明会に行っていました。改めて、実際に足を運ぶことで情報を得る必要があると反省しました。

今回の実習を経て、どのように今後の学校生活を進めるか【目標設定】(300字程度)

この実習を通して、私が身につけたいと思ったものは、「思考の柔軟性」「傾聴力」「プレゼンテーションスキル」「幅広い知識」です。これらの力を、三年次より始まるゼミ実習において総合的に身につけると同時に、公募コンペに応募してみるなどして、プレゼン構成をする機会を作ることによってスキルを磨き、他の三点は新聞・ビジネスニュースなどから好き嫌いせずに、多様な話題を取り入れることで強化したいと考えています。また、積極的に人との交流をしていくことで、コミュニケーションスキルも向上させておく必要があるとも考えています。なので、ボランティアやイベントを通して様々な年齢性別人種の人と関わりたいと思っています。

インターンシップ実習体験報告書(1/2)

※手書き不可

企業ID	16041	企業名	総合メディカル株式会社	コース名称	
配属先・実習部署				実施地	東京都
実施期間	8月20日	～	8月28日	日数・延べ時間	合計 6日間/延べ 45時間

キャッチコピー 【今回の実習を一言で示すキャッチコピーを記入してください。】
世界が変わる6日間

日程	実習日	実習内容(あたえられた課題)	課題に対しての行動・学んだこと
1日目	8月20日(月)	会社説明・医療業界について・班研究	日本の医療の現状や未来について知った。それらに対して自分は何が出来るのか考えさせられた。また、講義内で会社のSOWT分析を行い会社の良い点ばかりではなく弱みや脅威まで考えられたことが良かったし、今後も実践していきたい。コンサルティングや営業の仕事内容を知り、自分がどのような職種に就きたいかが見えてきた。特に、コンサルタントはかなりの知識が必要のように思えたが、医者と対等に議論できるという点が魅力的だと感じた。
2日目	8月21日(火)	社内見学・「東京支店営業」について・「経営コンサルティング事業」について・班研究	実際にこの会社で作った病院や薬局を見学することで、前日までに伺っていた話がより理解できた。地域やそこに住む人々を理解して、それぞれにあった医療を提供しているということが分かった。
3日目	8月22日(水)	「薬局事業」について・薬局見学・医療モール見学(2か所)・班研究	医療モールを作るために、地域の施設や住民、道路に至るまで実際に歩いて調査することが印象的だった。様々な事業を総合的に行っている企業だからこそ出来る医師へのトータルサポートに魅力を感じた。
4日目	8月23日(木)	「医療モール開発事業」について・「キャリアサポート事業」について・班研究	営業職がどのように一日の流れが分かった。エリア内でどのように活動するかは全て自分自身で決められるとのことそれが長所でも短所でもあると感じた。何かを売り込むのではなく、「悩みを聞きに行く」という営業の仕方が新鮮だった。
5日目	8月24日(金)	営業同行(私は多摩地区のクリニックや病院へ営業に行く社員さんに1日同行させていただきました。)	ここまで多くの方を前にしてプレゼンをするのは初めてだったので良い経験だった。大きな声で笑顔で明るく発表することを心掛けていたらその点を褒めていただいた。難しいことを言うより「相手に伝える・届ける」ということが大事だと実感した。
6日目	8月28日(火)	班研究→発表(1日目から班で話し合ってきたテーマについての最終プレゼンをしました。発表には支社長など多くの社員さんがいらっしゃいました。)	
7日目	月 日()		
8日目	月 日()		
9日目	月 日()		
10日目	月 日()		

【実習日が10日間以上の場合、もう1枚印刷し、「1日目」～「10日目」の、「実習内容」、「課題に対しての行動・学んだこと」欄にご記入ください。

実習を通じての成果(400字程度)
【「～ができるようになった。」「～を得ることができた。」等具体的な自己の成長について書いてください。】

【企業・業界】講義や班研究を通して、今までより深く日本の医療の現状・未来、そして問題を知ることが出来た。企業の特徴や雰囲気、何を重視しているのかといったところも6日間もオフィス内にいるとより見えてきて、就職を考える際の参考になった。インターンシップの直接の担当の方だけではなく多くの社員の方々も温かく迎え入れてくださり、お話しできたので参考になった。【班研究】一つのテーマについて6日間考え続けることが初めてだったのでそれ自身が自身の成長につながった。医療に関することや企業に関する事などはインターンシップ中に初めて学ぶことも多くそのインプットした情報を班研究の中で即座にアウトプットしていったのでよい定着した。インターンの前と比較するとはるかに知識がついたと思う。また、班研究ということで他の学生たちと関わる機会も多かった。どのように自分の意見を伝えるか、そうしたら相手を傷つけないように異論を唱えられるか、どうしたら親睦を深めることが出来るのかと常に考えていたので、コミュニケーション能力もこのインターン中についたと思う。【プレゼンテーション】毎日何かしら発表する機会があり、簡潔にわかりやすく意見を述べる方法を習得することが出来た。最終日の発表では多くの社員さんに発表をみていただき、元気の良さや笑顔、伝えようとする気持ちを褒めて頂いた。その反面、話し方が幼稚に見えるのご指摘も頂いた。自分の発表における長所や短所を知った。

実習にあたってどのような事前準備(学習)が必要か(200文字以内)
事前に1DAYインターンシップに参加しなければならないと思うので、その際に学んだことをしっかり復習しておくことが必要であると思う。特に、この会社の事業内容はだまかに理解しておく必要があると思う。

今回の実習を経て、どのように今後の学校生活を進めるか【目標設定】(300字程度)

【企業・業界】まずは、就職活動の際の参考にしたい。しかし医療に関する知識は決して就職だけしか使えないものではないと思う。この国に暮らす者、そしてこれからの社会を支えていく者として知識を忘れてはいけないうし、関心を持ち続けていきたい。【班研究】ここまで深く話し合えたことは、これからグループワークをする際の自分の自信にしていきたい。また、これで得たコミュニケーション術も様々なところで活用していきたい。今回は研究の順序やスケジュールを上手く組み立てられなかったという反省もあるので、次にグループワークをする際には時間管理という点にも気を付けていきたい。【プレゼンテーション】社員さんからのフィードバックで長所と短所を把握することが出来たので、それらの向上と発展をしていきたい。特に、元気な話し方をすると余計に幼稚に聞こえやすいと思うので、話し方の改善に力を入れたい。論旨をまとめて簡潔に話す練習を取り入れていきたい。

インターンシップ実習体験報告書(1/2)

※手書き不可

企業ID	16051	企業名	株式会社ニチイケアパレス	コース名称	
配属先・実習部署	ニチイホームさいたま新都心			実施地	埼玉県
実施期間	8月1日～8月7日			日数・延べ時間	合計 5 日間/ 延べ 36 時間

【今回の実習を一言で示すキャッチコピーを記入してください。】

キャッチコピー

お客様と触れ合い、介護を体験できるインターンシップ

日程	実習日	実習内容(あたえられた課題)	課題に対しての行動・学んだこと
1日目	8月1日(水)	オリエンテーション	車椅子の方や認知症の方との接し方について学びました。お客様のことを考えた行動・発言が求められることを再認識しました。
2日目	8月2日(木)	お客様とのコミュニケーション、配茶、口腔体操見学、レクリエーション見学、排泄介助見学、食事介助見学、居室清掃見学	麻痺のある方もいらっしゃるので、食事前後の誘導、消毒、食事介助など、一人ひとりに合った工夫が必要だとわかりました。
3日目	8月3日(金)	口腔体操実施、食事量・水分量の記録打ち込み、排泄記録の記入、排泄介助見学、食事介助見学、私物返却	水分量の制限がある方に対し、水分量を管理することの大切さを感じました。私物返却の際には、お客様が気持ちよく生活できるよう、配慮が必要だとわかりました。
4日目	8月6日(月)	お客様とのコミュニケーション、介護予防体操補助業務、配茶、レクリエーション見学、排泄介助見学、食事介助見学	お客様の顔と名前を覚えたことで、コミュニケーションを取りやすくなり、一人ひとりに合ったサービスをするには、お客様のことを知る大切だと思いました。
5日目	8月7日(火)	お客様とのコミュニケーション、配茶、口腔体操見学、レクリエーション実施	レクリエーションでは、全員のお客様に喜んでいただくことの難しさを実感しました。臨機応変な対応ができると良かったです。
6日目	月 日()		
7日目	月 日()		
8日目	月 日()		
9日目	月 日()		
10日目	月 日()		

↑実習日が10日間以上の場合、もう1枚印刷し、「1日目」～「10日目」の、「実習内容」、「課題に対しての行動・学んだこと」欄にご記入ください。

実習を通じての成果(400字程度)

【「～ができるようになった。」「～を得ることができた。」等具体的な自己の成長について書いてください。】

実習を通じての成果として、一つ目に、以前より周囲の方と積極的にコミュニケーションを取ることができるようになったことが挙げられます。以前は、コミュニケーションを取ることが苦手で、周囲の方とのコミュニケーションを避けてしまう場面がありました。しかし、ニチイホームさいたま新都心の方は、利用者一人ひとりに合ったサービスを提供するために、お客様一人ひとりの健康状態や性格を把握し、コミュニケーションを積極的に取っていらっしゃいました。五日間という短い期間ではお客様一人ひとりの健康状態や性格を把握することはできませんでしたが、コミュニケーションを積極的に取り、見守り際には自分からお客様に話し掛けるように心掛けました。二つ目に、高齢者について考える機会が増えたことが挙げられます。以前の私にとって高齢者は身近な存在ではありませんでしたが、レクリエーションを企画するにあたって、車椅子の方や認知症の方のようにすればレクリエーションを楽しんで頂けるかを考えました。考えが至らない点もあり、レクリエーションは成功とはなりませんでしたが、高齢者について真剣に考えることができ、貴重な体験となりました。レクリエーションでは職員の方にも助けて頂きましたが、豊富な引き出しを持っていらっしゃる、より楽しんで頂くにはどうしたらよいかを学ぶことができました。

実習にあたってどのような事前準備(学習)が必要か(200文字以内)

最終日のレクリエーションの企画書は前日までに提出するので、どのような企画をやりたいか事前に考えておく必要があると思います。

今回の実習を経て、どのように今後の学校生活を進めるか【目標設定】(300字程度)

今後の学生生活において、取り組んでいきたいことの一つ目は、相手の立場に立って行動するという事です。最終日のレクリエーション企画において、高齢者の方楽しんで頂けるよう、企画したのですが、考えが至らない点が多くありました。普段、高齢者の方と接していないということも失敗の原因として考えられますが、それ以上に普段から相手の立場に立って行動できていないのではないかと考えました。まずは、友人や先輩、後輩とより積極的にコミュニケーションを取り、相手の気持ちを考えられるよう務めて参りたいと考えております。二つ目は、新聞を読むなどして、社会で起きていることに関心を持つことです。今までの私は、社会で起きていることに関心がなかったため、少子高齢化が問題になっているにも関わらず、高齢者の方への理解が足りなかったのではないかと考えております。学生生活において、高齢者の方と接することは難しいですが、新聞を読み、ご家族の意見や高齢者の方が困っていることを知ることはできると思います。

インターンシップ実習体験報告書(1/2)

※手書き不可

企業ID	16061	企業名	医療法人白報会	コース名称	
配属先 -実習部署	かめいど在宅診療所、草加幸楽園			実施地	東京都
実施期間	8月20日	～	8月24日	日数・ 延べ時間	合計 5 日間/ 延べ 35 時間

【今回の実習を一言で示すキャッチコピーを記入してください。】

キャッチコピー

医療・福祉の現場を自分の目で見る！

日程	実習日	実習内容(あたえられた課題)	課題に対しての行動・学んだこと
1日目	8月20日(月)	2人1組でディスカッション。法人の説明。ドクターランド錦糸町の見学。	話し相手とどうすれば意見を伝えやすいか考え発表した。また、質問を受ける際自分の体験を交えつつ答えやほうが説得力があると感じた。
2日目	8月21日(火)	精神科の老人ホームへの訪問診療の見学。	普段入ることのない老人ホーム、見ることもない精神科の往診を見学できてよかった。医者だと感じさせないコミュニケーションが訪問診療では大切だと感じた。
3日目	8月22日(水)	訪問診療の営業の見学。内科の在宅診療の往診見学。	営業では無形の医療というサービスを売っていた。在宅診療は定期的に医者が訪問してくれるので病院に比べて患者さんの状態変化に気づきやすいのではないかと感じた。
4日目	8月23日(木)	老人ホームに入居検討されている方と施設見学。	老人ホームは入居する方だけでなくそのご家族のことも考えた施設づくりをしていた。介護士が不足しているという状況も目に見えて知ることができた。
5日目	8月24日(金)	老人ホームのホームページの採用ページの企画書作成。	企画書をつくるうえで自分が考えていることを伝えるにはどのような伝え方が最善かを考えて企画書を作成した。
6日目	月 日()		
7日目	月 日()		
8日目	月 日()		
9日目	月 日()		
10日目	月 日()		

「実習日が10日間以上の場合、もう1枚印刷し、「1日目」～「10日目」の、「実習内容」、「課題に対しての行動・学んだこと」欄にご記入ください。

実習を通じての成果(400字程度)

【「～」ができるようになった。「～」を得ることができた。】等具体的な自己の成長について書いてください。】

自分の学んでいる科目とは全然違う業界の企業のインターンシップであった。最初はあまり興味がないと思っていたが、在宅医療や訪問診療の現場を見学して自分の身近にはないからこそ面白味を感じた。私は就職活動では自分の興味のあるものだけを見ようと思っていたが興味がないからこそ他の業界も見ようと思う。インターンシップ先ではこの企業のことだけでなく、就職活動についての相談にも乗っていただいた。就職活動を経験した方のアドバイスはとても参考になった。また、在宅医療や訪問診療はまだ私たちにとって身近ではないと思う。私も以前は病院があるのだから在宅医療等は本当に必要なのか疑問に感じていた。しかし、病院に比べて医療の部分ではできることが限られているので劣る部分があるかもしれないが、患者さんの生活環境や薬の服用状況等の変化にとても気づきやすいという利点がある。この利点に気づくことができたのは自分がその現場を見学させていただいたからである。自分の固定概念にとらわれず目で見て確かめないとわからないこともあるということを学んだ。

実習にあたってどのような事前準備(学習)が必要か(200文字以内)

医療業界や介護業界の現状をある程度調べてから実習に臨むと世間で言われていることと現場の実態が比較でき、理解しやすいと思う。また、老人ホームの見学にあたって一度別の老人ホームを見ておくと施設の特徴を把握しやすいと思う。また、自分が想像していた以上に医者や看護師の方と話す機会が多々あった。その時に、質問したいこと等用意しておくとうと思った。

今回の実習を経て、どのように今後の学校生活を進めるか【目標設定】(300字程度)

私は今回の実習で自分の目で見て確かめないと何もわからないということ学んだ。就職活動においても興味のある企業ばかりインターンシップや説明会に参加するのではなく、あえて興味がないからこそ現場を見るという意味でたくさん参加していこうと思う。これは就職活動だけに言えることではない。大学生活という短い期間の中で自分を更に向上させるためにはいろいろなことに挑戦していくべきである。しかし私は現在大学での勉強、部活動、アルバイト全てにおいて中途半端である。他のことにも挑戦していくにはまずこれらのことにしっかりと取り組む必要がある。中途半端という状況を改善し、そして何事にも挑戦する心を持ち続けることが私の目標だ。

農業
建設業
製造業
電気・ガス・熱供給・水道業
情報通信業
運輸業・郵便業
卸売業・小売業
金融業・保険業
不動産業、物品賃貸業
学術研究・専門・技術サービス業
飲食サービス業
宿泊業、サービス業
生活関連サービス業
娯楽業
教育・学習支援業
医療・福祉
サービス業
公務

インターンシップ実習体験報告書(1/2) ※手書き不可

企業ID	16061	企業名	医療法人白報会グループ	コース名称	
配属先 実習部署				実施地	東京都
実施期間	8月20日	～	8月24日	日数・ 延べ時間	合計 5 日間/ 延べ 35 時間

【今回の実習を一言で示すキャッチコピーを記入してください。】

キャッチコピー

医療は忙しいというイメージが覆る

日程	実習日	実習内容(あたえられた課題)	課題に対しての行動・学んだこと
1日目	8月20日(月)	オリエンテーション・商業施設内の総合クリニック見学	グループワークを行いそこで、チームワークの大切さを学んだ。
2日目	8月21日(火)	在宅医療部の営業同行	特に老人ホームなどを自分の足で回って、人々の信用をえることの大切さを学んだ。
3日目	8月22日(水)	在宅医療部の営業同行	緊急時のために、時々夜勤の仕事をしていたりするところの見学をした。
4日目	8月23日(木)	介護事業部の体験	有料老人ホームを何個か回り、その場所によって、特色や行っていることについて理解することができた。
5日目	8月24日(金)	介護事業部の体験	車いすの清掃だったり、仕事の時間について詳しく話を聞くことができた。
6日目	月 日()		
7日目	月 日()		
8日目	月 日()		
9日目	月 日()		
10日目	月 日()		

※実習日が10日間以上の場合、もう1枚印刷し、「1日目」～「10日目」の、「実習内容」、「課題に対しての行動・学んだこと」欄にご記入ください。

実習を通じての成果(400字程度)

【「～ができるようになった。」「～を得ることができた。」等具体的な自己の成長について書いてください。】

グループワークでは、その場であった人とその場でお題について考えるということを初めてやったので、このようなことを就職の面接では当たり前に行っているようなことなので、なれるという意味では、貴重な経験を得ることができたと考えている。また、他の人の考えというものは、自分にも想像しえないことが多くあったので、もっと頭を柔軟に使えるように頑張っていきたいと思いました。営業の方から、その会社のことだけではなく、これからのための就職活動に必要なことを多く教わることができた。面接であったり、何を重視して仕事を決めるかだったり、職種はいつまでに絞ったらいいなどわかりやすい説明が多かったため、それを参考に今後の就職活動に生かしていければと考えている。事業部ごとに多少の仕事の差があったが、基本的に残業が少ないということだったので、忙しいイメージが崩れたので、その点はよかったなと思っている。

実習にあたってどのような事前準備(学習)が必要か(200文字以内)

特になし。(医療についての資格を持っている人なら、より有意義なインターンシップになると感じた。)

今回の実習を経て、どのように今後の学校生活を進めるか【目標設定】(300字程度)

柔軟に頭を使うことが、大事になってくると思った。また、仕事についても計画性をもって、一つ一つをこまめに頑張っていこうと思った。目標がまだ定まっていないということもあるので、早いうちにこの先の人生で悔いの残らないような進路を明確にして、決定をしたいと考えています。

インターンシップ実習体験報告書(1/2)

※手書き不可

企業ID	16061	企業名	医療法人白報会グループ	コース名称	
配属先・実習部署	医療法人白報会グループ本部、すぎなみ在宅診療所、人間藤沢幸楽園			実施地	東京都
実施期間	8月20日～8月24日			日数・延べ時間	合計 5 日間/ 延べ 35 時間

【今回の実習を一言で示すキャッチコピーを記入してください。】

楽しく学べる実習体験

キャッチコピー

日程	実習日	実習内容(あたえられた課題)	課題に対しての行動・学んだこと
1日目	8月20日(月)	企業についての大まかな説明を聞き、グループディスカッションでは考えをまとめて発表した。	2人1組だったため積極的に発言し、考えをわかりやすく紙にまとめた。質疑応答の時、瞬時に考えをまとめて意見を述べられる対応力を学んだ。
2日目	8月21日(火)	在宅医療やメディカルコーディネーターの業務についての説明を受け、営業に同行した。	メディカルコーディネーターという職種について学び、また営業では、訪問先の方への対応に社会人としての姿勢を学んだ。
3日目	8月22日(水)	訪問診療へ同行した。	患者さん宅へ行くことで病院へ通う負担がなくなることや、患者さん自身の環境も把握しアドバイスすることができる点において訪問診療の大切さを感じられた。
4日目	8月23日(木)	老人ホームや業務内容について話を聞き、3か所の施設を見学した。	利用者の方が快適に過ごせるような環境づくりが目に見えて分かり、介護という仕事についての理解が深まった。
5日目	8月24日(金)	口腔ケアや体操の見学をし、車椅子の掃除をした。	利用者の方に合わせたライフスタイルに沿ってサポートする姿を直接見学することができ、介護という仕事の大切さや大変さを感じられた。また、介護保険制度など知らなかったことについての知識を得られた。
6日目	月 日()		
7日目	月 日()		
8日目	月 日()		
9日目	月 日()		
10日目	月 日()		

※実習日が10日間以上の場合、もう1枚印刷し、「1日目」～「10日目」の、「実習内容」、「課題に対しての行動・学んだこと」欄にご記入ください。

実習を通じての成果(400字程度)

【「～ができるようになった。」「～を得ることができた。」等具体的な自己の成長について書いてください。】

業務上見学の多いインターンではあったが、実際に目に触れる機会の少ない仕事であったため、知識が深まったとともにその仕事の大切さを感じる事ができた。特に、在宅医療であるメディカルコーディネーターという仕事についてのイメージが全くできていなかったこともあり、知らなかった仕事について知ることができた。また、訪問診療では患者の方の個人宅に入り、側でじっくり見学することができる良い経験となった。老人ホームに対しては、漠然としたイメージしかなかったゆえに施設内の見学や説明によって環境や介護保険制度の知識を得ることができた。患者の方や介護施設利用者の方がより豊かな生活ができるようにサポートする素晴らしい仕事であることがわかった。丁寧なサービスをすることで相手に安心や笑顔を与えられる非常にやりがいのある仕事だということが身にしみてわかり、実習前よりさらに興味をもつことができた。

実習にあたってどのような事前準備(学習)が必要か(200文字以内)

ホームページや初日にいただいたパンフレットを読み、少し理解しておくこと。

今回の実習を経て、どのように今後の学校生活を進めるか【目標設定】(300字程度)

就職活動を行う事前準備として漠然とした気持ちで今回のインターンシップに参加することを決め、なんとなく興味があった医療業界を選んだのだが、今回の実習を経て「この仕事をしたい」という気持ちを持つことができた。そのため、医療事務の資格を取り、医療業界で働くための知識を身につけようと考えている。しかし一方で、他の業界についてもきちんと研究し、今後行われるインターンシップに参加する予定である。こうして様々な業界を知り、体験することでその仕事についての興味が変わることもあるため、積極的に参加していくべきだと感じた。就職活動まで半年を切っている危機感を持ち、様々な業界を研究し続けることを忘れないよう今後の学生生活を進めようと思う。

インターンシップ実習体験報告書(1/2)

※手書き不可

企業ID	16061	企業名	医療法人白報会グループ	コース名称	
配属先・実習部署	草加幸楽園・かしわ在宅診療所			実施地	東京都
実施期間	8月20日～8月24日			日数・延べ時間	合計 5日間/延べ 30時間

【今回の実習を一言で示すキャッチコピーを記入してください。】

キャッチコピー

医療・福祉業界の理解と実践

日程	実習日	実習内容(あたえられた課題)	課題に対しての行動・学んだこと
1日目	8月20日(月)	本部にてオリエンテーション・グループワーク ドクターランド錦糸町にて施設見学	白報会グループの構成や役割について理解できた。 グループワークでは課題に対する解決策をいかに多角的にみられるかが重要であることを学んだ。
2日目	8月21日(火)	草加幸楽園にてガイダンス・施設見学 リスト作成	老人ホームに入居するまでの流れや就職活動についてのお話を聴くことができた。
3日目	8月22日(水)	草加幸楽園にてリスト作成	リスト作成において、いかに正確に効率的にできるかが重要で大変さを実感した。
4日目	8月23日(木)	かしわ在宅診療所にてガイダンス・業務内容の説明 訪問診療の同行	在宅医療の役割や仕組みを理解することができた。 訪問診療では実際に患者さんのお宅へ行き、診療の様子をみる事ができた。
5日目	8月24日(金)	かしわ在宅診療所にて訪問診療の同行	老人ホームへの訪問診療に同行し、診療の様子や医療処置の見学を行った。在宅医療ならではの大変さを学んだ。
6日目	月 日()		
7日目	月 日()		
8日目	月 日()		
9日目	月 日()		
10日目	月 日()		

【実習日が10日間以上の場合、もう1枚印刷し、「1日目」～「10日目」の、「実習内容」、「課題に対しての行動・学んだこと」欄にご記入ください。

実習を通じての成果(400字程度)

【「～ができるようになった。」「～を得ることができた。」等具体的な自己の成長について書いてください。】

医療・福祉業界では多くの職種が存在し、多くの方が連携して一つのチームで患者のケアを行っているということを感じることができた。また、社会人の方々と接することで、挨拶などの基礎的なマナーからコミュニケーションの重要さも学んだ。実際にお仕事を体験させて頂き、その面白さや難しさを実感すると同時に、自分に足りない知識や能力を発見することができた。

実習にあたってどのような事前準備(学習)が必要か(200文字以内)

インターンシップの目的や参加した理由をいえるようにしておくこと。企業がどのような企業なのかと医療・福祉業界について少し調べておくことが必要。また、担当の方とお話しする機会が多いので、いくつか質問を用意しておくこと良い。

今回の実習を経て、どのように今後の学校生活を進めるか【目標設定】(300字程度)

担当の方から頂いた就職活動に関するアドバイスや、社会人になる上で大切な考え方やマナーを忘れず、これからの人生に活かしていきたい。また、自分は情報を効率良く迅速にまとめることが不得意だということが分かったので、残りの学生生活で改善できるよう努力する。今回のインターンシップの経験が自己実現に繋がるよう、将来の目標をより明確にしていきたいと思う。

インターンシップ実習体験報告書(1/2) ※手書き不可

企業ID	16071	企業名	株式会社フロンティア	コース名称	
配属先・実習部署				実施地	東京都
実施期間	8月20日	～	8月24日	日数・延べ時間	合計 5 日間/ 延べ 40 時間

キャッチコピー **【今回の実習を一言で示すキャッチコピーを記入してください。】**
営業のイメージが変わる、福祉用具の営業のインターンシップ

日程	実習日	実習内容(あたえられた課題)	課題に対しての行動・学んだこと
1日目	8月20日(月)	会社紹介、ビジネスマナー、企画立案プロジェクト	企画立案プロジェクトでは、時間が短かったため、発表用資料を作る者と細かい点を決める者に役割分担して行いました。
2日目	8月21日(火)	営業職について、医療福祉業界について、コミュニケーションスキルについて	営業職は高齢者の方とお話しする機会が多いため、オープンクエスチョンやクローズドクエスチョンを駆使し、話を深掘りする技術が必要だとわかりました。
3日目	8月22日(水)	高齢者疑似体験、福祉用具体験、住宅内の危険を発見するグループワーク、営業同行オリエンテーション	高齢者疑似体験では、高齢者の方の身体には想像以上に負担がかかっており、負担を軽減するために福祉用具が必要であることがわかりました。
4日目	8月23日(木)	営業同行	営業職について、押し売りのようなイメージがありましたが、お客様と良い関係を築くことが求められているとわかりました。
5日目	8月24日(金)	営業同行の振り返り、営業ロールプレイ、住環境コーディネート	住環境コーディネートでは、ヒアリングが重要であることと、本当に必要な福祉用具を選んで提供することが求められることがわかりました。
6日目	月 日()		
7日目	月 日()		
8日目	月 日()		
9日目	月 日()		
10日目	月 日()		

【実習日が10日間以上の場合、もう1枚印刷し、「1日目」～「10日目」の、「実習内容」、「課題に対しての行動・学んだこと」欄にご記入ください。

実習を通じての成果(400字程度)
 【「～ができるようになった。」「～を得ることができた。」等具体的な自己の成長について書いてください。】

実習を通じての成果の一つ目は、相手に自分の意見を伝えることができたことでした。私は、自分の意見を相手に伝えることが苦手です。一日目のグループワークでは、初日で緊張していたこともありましたが、自分の意見を相手に伝えることができず、周りの人の意見に流されてしまいました。しかし、営業同行を通じて、相手のニーズを引き出しつつ、自分の考えを伝えることの大切さがわかりました。このことを活かし、最終日の営業ロールプレイでは、お客様役の人にはっきりと福祉用具の良さを伝えることができました。二つ目は、コミュニケーションにおいて相手の意見を聞くことが大切であると理解し、実践できたことです。今までも、相手の意見を聞くことは大切だとわかっていましたが、ただ話を聞くだけでなく、オープンクエスチョンやクローズドクエスチョンを駆使したり、雑談を交えたりしながら、相手の意見を聞き出すことの大切さがわかりました。また、営業同行では、社員の方が、笑顔でお客様の話を聞き、お客様のニーズを引き出していらっしゃるお姿を拝見しました。会話において笑顔が大切であると実感いたしました。最終日のグループワークで、私はリーダーを務めましたが、慣れないことが多く、全てが上手くは行きませんでした。しかし、班員の意見をしっかりと聞くということを意識して行うことができました。

実習にあたってどのような事前準備(学習)が必要か(200文字以内)

福祉用具について、事前に調べておくことより有意義な実習になると思います。

今回の実習を経て、どのように今後の学校生活を準備するか【目標設定】(300字程度)

今回の実習を経て、今後の学生生活で取り組んで参りたいことの一つ目は、今回学んだコミュニケーションスキルを実践し、相手の考えを聞き出せるように努力することです。部活動の後輩と話していると、後輩が遠慮してしまって、思っていることを言えないことがあります。そのため、オウム返しやオープンクエスチョン、クローズドクエスチョンを使い、相手が思っていることを聞き出せるように努めます。また、相手の話をしっかりと聞くことが大切だと感じたため、常に心掛けて参ります。二つ目は、自信を持って話せる内容を増やすということです。会話の中に雑談を取り入れるためには、自信を持って話せる内容が必要だと考えます。学生生活においては、勉強も課外活動も今までより一層励みます。また、多くの本を読み、知識や教養を蓄えます。自分の興味のある本だけでなく、誰でも知っているような、ベストセラーや名作も読み、会話で共通の話題を作れるようにしたいと考えております。

インターンシップ実習体験報告書(1/2)

※手書き不可

企業ID	16081	企業名	ワタキューセイモア株式会社	コース名称	
配属先 実習部署		実施地	東京都		
実施期間	8月28日～9月3日			日数・ 延べ時間	合計 5 日間/ 延べ 35 時間

キャッチコピー 【今回の実習を一言で示すキャッチコピーを記入してください。】
相手のことを第一に考える

日程	実習日	実習内容(あたえられた課題)	課題に対しての行動・学んだこと
1日目	8月28日(火)	AM:オリエンテーション、会社説明 PM:ビジネスマナー講座、医療福祉業界・見学病院について、5日間の個人目標設定	座学で実習期間中の必要となる基礎知識を学習しました。商品販売の流れやビジネスマナーなどを学び、特に4日目の営業体験はご教示いただいた内容を活用・実践する場となりました。
2日目	8月29日(水)	メーカー研修二社 AM:パラマウントベッド本社見学 PM:酒井医療見学	取引先のメーカー二社の見学に行き、ショールームでベッドや介護入浴装置等の商品の説明をしていただきました。お客様のニーズにお応えできるよう、様々な工夫がなされていることがわかりました。
3日目	8月30日(木)	請負業務について AM:日本医科大学付属病院見学 PM:JCHO東京新宿メディカルセンター見学、グループワーク・プレゼンテーション	午前は減菌業務、午後はリネンサプライという二つのアウトソーシング業務の見学に行きました。減菌などのサービスそのものだけではなく、手術の術式に応じた器具のセットをあらかじめ作成しておくなど、お客様がより使いやすいような付加価値を設定していることがわかりました。
4日目	8月31日(金)	AM:営業座学 PM:営業体験	白衣の営業体験を行いました。お客様のご要望に合った商品の提案、値段交渉、契約・納品などの一連の流れをスムーズに行うことだけでなく、ビジネスマナーや言葉遣いなどの基本的な要素によって、お客様に与える印象はかなり変わることを学びました。
5日目	9月3日(月)	AM:プレゼンコンテスト準備 PM:プレゼンコンテスト、まとめ・総括	お客様向けに商品提案を行い、購買意欲を高めていただくという体でプレゼンをしました。商品知識が多すぎると混乱を招くため取捨選択が大切ということや、社内リーダーをやるのが必ずしも良いということはなく、それぞれができることをやるのが大切ということなどを学びました。
6日目	月 日()		
7日目	月 日()		
8日目	月 日()		
9日目	月 日()		
10日目	月 日()		

↑実習日が10日間以上の場合、もう1枚印刷し、「1日目」～「10日目」の、「実習内容」、「課題に対しての行動・学んだこと」欄にご記入ください。

実習を通じての成果(400字程度)
【「～ができるようになった。」「～を得ることができた。」等具体的な自己の成長について書いてください。】

私はグループワーク等で中心的存在になることに苦手意識を持っていましたが、5日間を通して班で課題に取り組む機会が多く、思い切って自分から意見を述べたうえで班員にアイデアを募るなど、班内で積極的に行動し話し合いを進めることが出来たように感じました。しかし、必ずしもリーダーをやることばかりが良いというわけではなく、無理にやって失敗するよりもリーダー以外の自分の出来る仕事を全うするという選択肢もあるというお話をなさっていたことから、様々な状況を見て柔軟かつ臨機応変に対応出来るようになることが重要であるということを知りました。また、お客様に商品説明をする際などはあまりお伝えする情報が多いと混乱のもとになるため、最低限かつ効果的にお伝えする内容を考えたうえで、お客様からのご質問などに確実に対応できるように入念な準備しておく必要があるということを通し、プレゼンや営業体験などを行うにあたって自分が話す情報の取捨選択を行うことが大切であるということを知りました。

実習にあたってどのような事前準備(学習)が必要か(200文字以内)

ビジネスマナーや言葉遣い等をスムーズに行えるよう練習しておくことが必要であると感じました。特に4日目の営業体験の際、限られた時間の中でたくさんのお話を必要があり、基本的なことが問題なく行えることはかなりのアドバンテージになると考えます。それらが徹底されていない場合、どんなに営業を滞りなく進めていたとしてもお客様に悪印象を与えることになり、基本的なことが出来ていないことが原因で営業が失敗に繋がるだけでなく、取引そのものを絶たれてしまうなどの重大な事態に繋がりがかねないためです。

今回の実習を経て、どのように今後の学校生活を進めるか【目標設定】(300字程度)

ゼミで発表に向けてグループワークを行うことが多いのですが、今までは班員の誰かが動くまで待っており、従って誰かに意見を求められるまで受け身になってしまうことがほとんどでした。今回のインターンシップを通して、自分としては普段よりもかなり主体的に動くことができたように感じ、話し合いを進めるうえでのイニシアチブをとることに対する苦手意識が多少払拭できました。このことから、状況を見極めて自分の意志で積極的に動き始めるようにしていきたいと考えています。また、自分よりも適任がいる場合には今まで以上に自分の出来ることを一杯取り組み、グループワークに貢献していきたいと思っております。